

Urban Data Challenge
Tokyo 2013

資料 2

グループディスカッションの進め方

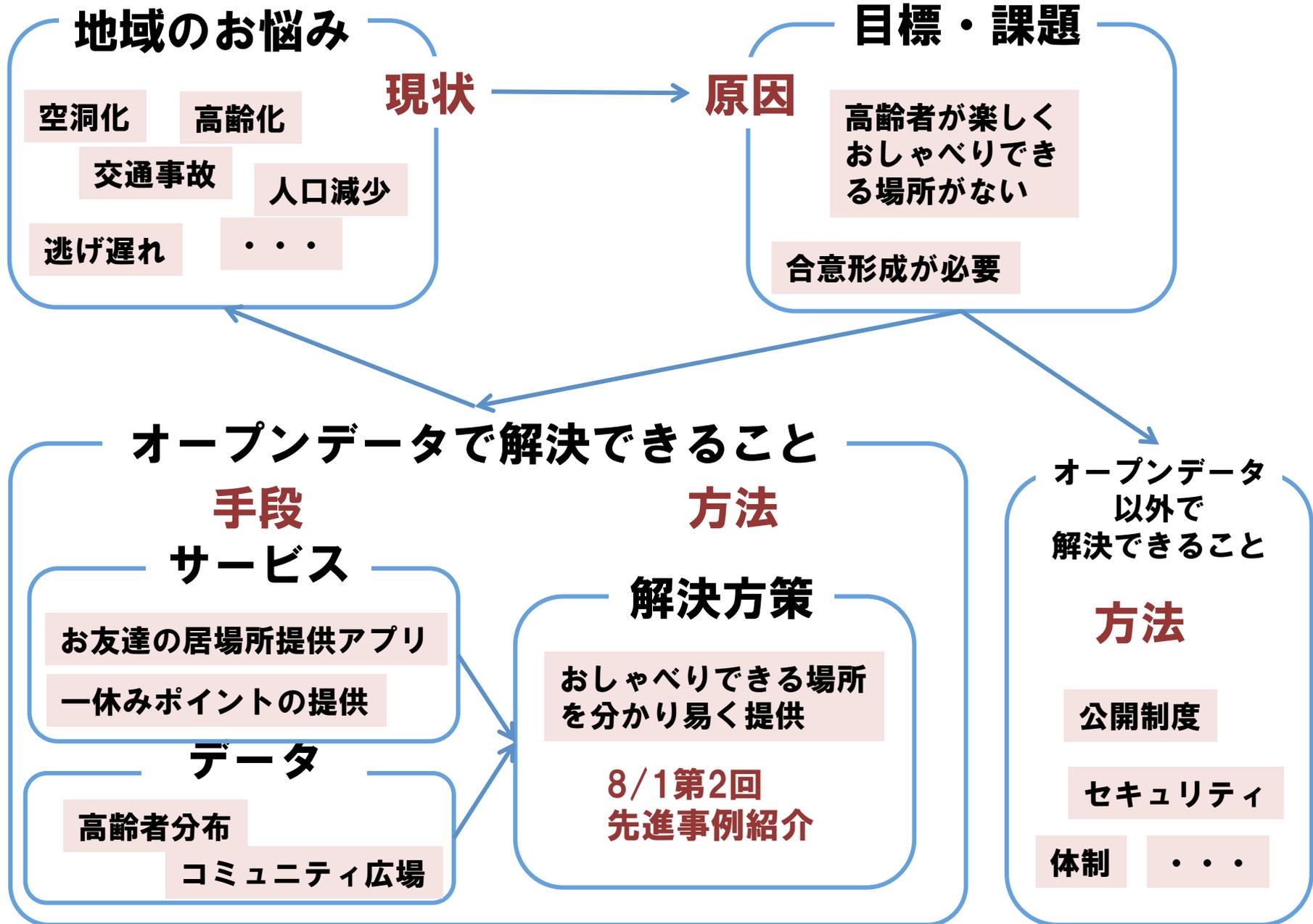
※実行委員向けに作成しています
→参加者向けに編集して配布資料に

ディスカッションのテーマ

データチャレンジを通じて解決を目指す課題
を具体化する！
+(出せれば)若干の解決のヒント

- 今後開催するデータチャレンジイベントの中で解決を目指す指定課題としていけるよう、具体的なメニュー出しを目標とします
例：自転車事故が多いためそれを減らしたい
例：高齢化が進んでいるため高齢者が元気に暮らせる仕組みを作りたい
- 可能であれば、解決方策として考えられることについて、案を出し合うことも目標とします

イベントの位置づけ(1/2)



イベントの位置づけ(2/2)

地域のお悩み

目標・課題

現状

原因

6月10日の
ディスカッション

8月1日の
ディスカッション

オープンデータで解決できること

手段

方法

サービス

解決方策

8月1日の
話題提供

8月1日の
話題提供

データ

10月4日の
話題提供

10月4日

オープンデータ
以外で
解決できること

方法

公開制度

セキュリティ

体制

...

スケジュール

時間	項目	内容
15:00-15:20 (20分間)	課題リストおよびデータの紹介	<ul style="list-style-type: none">•キックオフシンポジウムで出された課題の紹介•収集データの紹介
(グループ移動 5分)		
15:25-16:15 (50分間)	各課題に関する事例紹介 & グループディスカッションPart1	<ul style="list-style-type: none">•課題グループ毎に事例紹介•皆さまで、課題テーマごとのグループで議論
(グループ移動 5分)		
16:20-17:10 (50分間)	各課題に関する事例紹介 & グループディスカッションPart2	<ul style="list-style-type: none">•グループメンバーを入替えて、事例紹介と議論 <p>※Part1で議論された内容はファシリテータから簡単に紹介</p>
(休憩、各グループの成果の集約 10分)		
※ファシリテータ、記録係は取りまとめ、発表ファイル準備		
17:20-17:50 (30分間)	ディスカッション成果の共有	※発表ファイルを使って発表(集約はせず、それぞれ持ち寄り)
17:30-17:50 (20分間)	質疑・議論	<ul style="list-style-type: none">•全体で質疑応答

実行委員の役割分担

【全体】(敬称略)

(事前)

- モニター等の持寄り: 関本、西沢
(モニタ6-7台(関本1、西沢2、Ce509: 2、Cw503:2?) プロジェクタ:
3-4台(会場1、Ce509:2、Cw503:1)?)
- 机イスモニター等の配置: 幹事メンバー
(23日配置検討)
- 講演資料の集約: 増田
(I部のみ印刷配布を想定、II部含め公開したいため可否を確
実に確認)

(当日)

- 受付け: 山本、濱里、片柳
- 講演者への交通費等の支払い: 山本
- 質疑応答時のマイク: 山本、片柳
- Ustream用撮影、配信: 東大メンバー

実行委員の役割分担

【グループディスカッション時】(敬称略)

グループ(課題)	ファシリテータ	記録	【参考】事例紹介
人口	東	仲宗根(東大)	Open Knowledge Foundation Japan 東 修作
まちづくり	大伴	増田(長大)	(株)ゼンリンデータコム 足立龍太郎
インフラ	和田	川島(M2M)	東大生研准教授 長井宏平
防犯	石井	檜山	東大CSIS助教 雨宮護
防災	西沢	濱里	東大CSIS特任教授 西沢明
交通	嘉山	郡司	(株)環境情報 小美野智紀
農業	高橋	増田(東京都)	農業環境技術研究所 岩崎亘典
教育	関	青島	NPO伊能社中 仙石裕明
観光	藤津	片柳(日本工営)	Open Knowledge Foundation Japan 藤村良弘

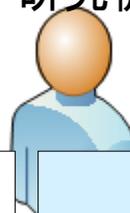
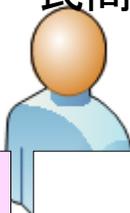
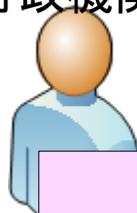
ディスカッションにあたって

- 各グループには、実行委員がファシリテータ、記録係として入ります
- 議論を頂く時間が限られているため **自己紹介はご所属とお名前のみ簡単にしてください**
※集まった方のお立場がわかりやすいよう名札の色を区分しています

行政機関の方

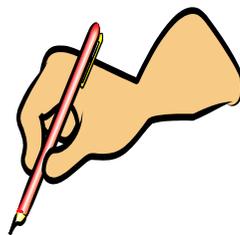
民間の方

研究機関の方

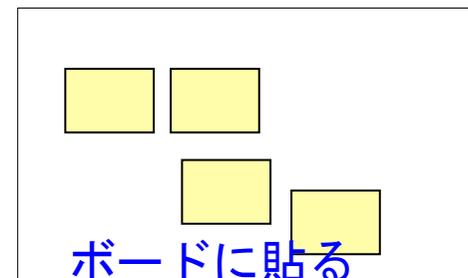
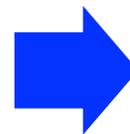


実行委員

- 議論を通じて具体化した課題、新たに出た課題やアイデアなどを付箋に記載してスチレンボードに貼っていただきます



付箋に記入する



ボードに貼る

グループディスカッション進行

■進行イメージ

- ファシリテーター、記録係、話題提供者は課題グループに固定
- 一般参加者はPart1とPart2とで別のグループに移動
- ファシリテータは、Part2の冒頭にPart1の要約を数分で伝える

■グループディスカッションの取りまとめ

- グループで2回に分けて議論された成果をまとめます

■成果の共有

- 会場前方のスクリーンに成果を表示して発表
- 今回、ファイルは集約しません、各グループ発表者が発表時に持参してください
- 発表頂くのはグループのどなたでも構いません
- 決まらないようでしたらファシリテータの方が発表ください
- 記録係は、成果を公開時まで共通のフォームにまとめてください(フォームは当日までに伊藤より送付)

会場レイアウト

- ① 人口
- ② まちづくり
- ③ インフラ
- ④ 防犯
- ⑤ 防災
- ⑥ 交通
- ⑦ 農業
- ⑧ 教育
- ⑨ 観光

23日の実行委員会後にコアメンバーにてレイアウト検討

- ・ 机、イス
- ・ モニターホワイトボード等
- ・ 電源

